

日本国内での英文論文出版における 国立病院機構の貢献についての調査

齋藤明子[†] 齋藤俊樹 岡田 靖

IRYO Vol. 77 No. 4 (236–242) 2023

要旨

140の病院と機構本部で構成される国立病院機構（NHO）は、日本の独立行政法人として医療の提供、医療に関する調査および研究、医療に関する技術者の研修を業務として行っている。医学の進歩と国民の健康増進に研究活動の推進は重要であり、そのためNHOにおいても、“質の高い臨床研究”の実施を推進することが理念の1つとなっている。一方、NHOにおいて行われている研究活動の成果は、国民はもとよりNHO内職員にも十分認知されていない。

文部科学省の直轄する国立試験研究機関科学技術・学術政策研究所（NISTEP）は、科学技術活動を把握するために作成した「科学技術指標」の中で、英文論文数に基づく国力評価も行っている。そこでわれわれは、NHOにおける研究活動への貢献を評価するため、著者がNHOに所属する英文論文数を分析した。まず、NHOが独立行政法人評価時に提出している英文論文数の算出法と上記NISTEPによる算出法を比較し、論文数の外挿条件を定めた。これにより2011年度から2020年度までの英文論文数をNISTEPによる算出法でNHOに著者が所属する英文論文数を推計し、日本全国の臨床医学・基礎生命科学論文数に占める割合および年次推移を比較した。

NHOに著者が所属する英文論文数は日本の臨床医学・基礎生命科学論文数の4-5%を占めており、日本全体の約1/20にNHOが貢献していることがわかった。本研究によりNHOは、日本の臨床医学・基礎生命科学において重要な役割を担っていることがわかった。研究基盤を有する日本最大の公的医療機関として、研究活動のさらなる活性化が期待される。

キーワード 国立病院機構, 研究活動, 英文論文数

背景

国立病院機構（National Hospital Organization : NHO）は、医療の提供、臨床研究の推進、医療従

事者の育成という3つの業務を中心に、急性期から慢性期までの診療を約5万床の病床と約6万人の職員で行っている全国140の病院ネットワークである。医学の進歩とそれに基づく国民の健康増進のため

国立病院機構本部 総合研究センター臨床研究支援部 [†]医師
著者連絡先：齋藤明子 国立病院機構本部 総合研究センター臨床研究支援部
〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21
e-mail : saito.akiko.am@mail.hosp.go.jp
(2023年3月30日受付 2023年6月9日受理)

A Survey on the Contribution of the National Hospital Organization to Academic Paper Publication within Japan
Akiko M. Saito, Toshiki I. Saito and Yasushi Okada

National Hospital Organization Headquarters, Clinical Research Center, Department of Clinical Research Support
(Received Mar. 30, Accepted Jun.9, 2023)

Key words : NHO, research activities, English-language papers